



井川中学生が枝打ちや間伐作業を体験

森林の多面的機能や林業の素晴らしさを学んでもらおうと9月27日、井川中学校1年生による林業体験学習が井川町長尾で行われました。生徒29人は6班に分かれて西井川林業クラブの会員から指導を受けながら力を合わせて間伐作業を体験。慣れない作業に辛抱強く取り組んだ石山煌さんは「最初は簡単な作業かと思ったけど思ったより難しかった。みんなで協力して木が倒れた時の達成感がうれしかった」と語り、心地よい汗を流していました。午後からは木の枝を使ったフォトフレームづくりも行われ、林業への理解を深めました。

英語スピーチコンテストで思いを伝える

中学校英語部会主催で毎年開かれている英語スピーチコンテストが9月14日、三好教育センターで行われ、三好郡市の中学生14名が参加しました。生徒らは、保護者や先生が見守る中、緊張しながらもジェスチャーや声に抑揚をつけて堂々と発表し、練習の成果を発揮していました。3人の審査員が、スピーチの内容や発音、表現力を審査した結果、西祖谷中学校の谷口将翔さんと三野中学校の釋子智花さんが最優秀賞を受賞しました。2人は、10月1日に開催された徳島県の大会に出場しました。



世界選手権開幕を前に市内中学生が選手と交流

ラフティング世界選手権2017に出場する選手と交流し選手権を盛り上げようと各中学校で交流会が行われました。9月27日に行われた池田中学校では、男子オープンのブラジルチームが来校。生徒らが、阿波踊りやダンスを披露した後、琴や書道、折り紙、けん玉、コマなどを体験してもらおうと、2年生72名がおもてなしをしました。ブラジルチーム選手たちは、初めて体験する書道や琴などを生徒らに教えてもらいながら挑戦し、「人生でこんな交流はなかなかないので、とても楽しかった」と笑顔で語っていました。また、29日に山城中学校にネパールチームが訪れ、交流を深めていました。



おもしろいこと、珍しいもの、耳よりの情報など、どんなことでもいいのでお知らせください。
三好市役所 秘書人事課 ☎ 72-7646

交通安全を願い 心一つに演奏 身近な水の大切さを学ぶ



秋の全国交通安全運動に合わせ9月28日、交通安全ならびに青少年健全育成パレードが箸蔵小学校で行われ、交通安全協会箸蔵支部の会員や関係者らが参加しました。この日はあいにくの雨で、国道などでのパレードは行えませんでした。6年の藤堂理子さんは、「たくさんの人に交通安全を呼びかけたい。気持ちを込めて演奏したい」と述べ、鼓笛隊の演奏とダンスを園児、児童ら全員で披露しました。また、大西交通安全教育指導員からは、交通ルールの大切さを児童らに訴えかけました。



環境について知識を深めてもらおうと9月27日、にし阿波環境塾が王地小学校で行われ、4年生7名が参加しました。西部総合県民局の環境担当の職員が講師となり、水の汚れを調べるCODバックテストを使って実験。水道の水と近くに流れている用水の水、水の入った大きな容器に少しだけみそ汁やポカリなどを混ぜたものなどの水の汚れを調べました。宮西沙京さんは「綺麗な水にみそ汁などが少しでも混ざると、魚も住めない水になることを知り、食べ物を残してはいけないと思った」と水の大切さを学びました。

歴史文化を学び伝えよう



地域の魅力を学び伝える人材を育成しようとして9月20日、辻の町並みを巡る「三好市の観光地・ジオの学びセミナー」が開催されました。参加者は地元ガイドらの説明を受けながら国の登録有形文化財に登録されている今宮神社のほか、仁尾家住宅や旧刻み煙草工場などを見学し町並みの特徴について学びました。箸蔵寺のボランティアガイドを務める平井和夫さんは「ユーモアを交えた話し方やクイズなど今後のガイドの参考になった」と感想を述べました。セミナーは観光協会主催で今後西祖谷などでも行われます。

認知症への理解を深めよう

認知症と転倒予防をテーマに9月26日、市民大学講座が市中央公民館で開催されました。講師を務めた竹内大介さんからは、認知症の症状や患者との接し方について注意点が紹介されたほか、認知症高齢者が転倒しやすい状況下を模擬体験する実演なども行われました。西祖谷山村西岡の高平和代さんは、「今までは自分の見方や感覚で接していましたが、脳の働きや仕組みを学ぶとともに歩行体験などを通じて患者の立場に立ったサポートの仕方を考える良い機会になりました」と語り、参加者らは認知症への理解を深めました。



高井選手がアジア新記録を樹立 東京パラ出場に向け前進

ロンドンで開かれる障がい者マラソンのワールドカップに向けた国内選考会（札幌市）で優勝した高井俊治さんが9月23・24日、福島県で開催されたジャパンパラ陸上競技大会でT13クラスの5千メートルと1万メートルに出場し、2種目でアジア新記録を樹立し優勝しました。軽度の視覚障がいがある高井さんは東京パラリンピックの県強化選手で今回のレースを終え、「12月に山口県で行われる防府読売マラソンで目標タイムの2時間30分を切って来年4月に行われるロンドンに向けて弾みをつけていきたい」と抱負を語ってくれました。今後の活躍が期待されます。